

令和元年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	プラズマ誘起生体活性物質による超バイオ機能の展開
研究代表者	堀 勝 (名古屋大学・工学研究科・教授)
研究期間	令和元年度～令和5年度
科学研究費委員会 審査・評価第一部会 における所見	<p>本研究は、研究代表者の研究グループが発見した、プラズマ誘起生体活性物質により発現する抗がん機能や生育促進機能等の超バイオ機能の原因を解明し、新しい学術としてのプラズマ生命科学を構築しようとするものである。</p> <p>プラズマ誘起生体活性物質が生体に対して様々な機能を持つことはわかっているが、どのように作用しているのかは現状では未解明である。当該現象は複雑であることから、本質の解明に向けたプラズマ誘起合成経路、合成物質の分子構造と物性、生体応答の機構等の解明に一つひとつ取り組む地道な研究がなされることで、プラズマ科学と生命科学の融合が実現できる。本研究によりプラズマの役割も含めた作用が解明されれば、がん治療や効果的な食物生産等の大きな社会還元につながる研究成果が期待できる。</p>